



2012 夏の節電取組について

関西国際空港では、日本の玄関口として空港利用者に与える節電の影響を最小限に抑える中で、昨年同様、新関西国際空港株式会社及びグループ会社、さらには、空港島内事業者が一丸となり、様々な取り組みを行い使用電力の抑制に積極的に取り組んでまいります。

1. 期間

2012年7月2日(月)から9月7日(金)まで

2. 主な取組内容

(1) 新規

- ①旅客ターミナルビルの冷房温度を例年より1℃高い27℃で運用します。
- ②旅客ターミナルビル空調の運転台数抑制を行います。
- ③手荷物搬送設備に、未使用時に自動停止する機能を未整備のラインに追加します。

(2) 昨年から継続

- ①南北ウイングのAGTについて、お客様の集中しない時間帯に運転間隔を3分から4分半に変更します。
- ②旅客ターミナルビルの代替手段がある屋外エスカレーターの運転を停止します。
- ③オフィスについて、冷房温度28度の徹底を行うとともに、執務室内の照明も間引きます。
また、従業員専用のバックヤード通路などの照明も間引きます。
- ④その他、旅客ターミナルビルの外気取り入れファンのインバータ化、照明のLED化、立体駐車場照明のインバータ化及び道路照明の間引き等を実施します。

(3) グループ会社対応

関西国際空港熱供給(株)では、冷房用の冷水を製造するエネルギー源を電気からガスに一部変更して節電を図ります。

3. 節電効果

2010年比、約10%(約1,700kW)(伊丹部門は除く)の節電を行います。